

数理・データサイエンス・AI

「数理・データサイエンス・AI」のガイダンス

AI戦略2019

- 数理・データサイエンス・AIを、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として全ての国民が育むべきとした
- 小学校：プログラミング教育
- 高校：情報Ⅰの必修化
- 大学・高専：文理問わずに初級レベルの「数理・データサイエンス・AI」の習得

モデルカリキュラム

モデルカリキュラムの大項目

1. 社会におけるデータ・AI利活用
2. データリテラシー
3. データ・AI利活用における留意事項

※4つ目はオプション

1. 社会におけるデータ・AI利活用

1.社会におけるデータ・AI利活用	学修内容
1-1. 社会で起きている変化	社会で起きている変化を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解する AIを活用した新しいビジネス/サービスを知る
1-2. 社会で活用されているデータ	どんなデータが集められ、どう活用されているかを知る
1-3. データ・AIの活用領域	さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを知る
1-4. データ・AI利活用のための技術	データ・AIを活用するために使われている技術の概要を知る
1-5. データ・AI利活用の現場	データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを知る
1-6. データ・AI利活用の最新動向	データ・AI利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を知る

2. データリテラシー

2. データリテラシー	学修内容
2-1. データを読む	データを適切に読み解く力を養う
2-2. データを説明する	データを適切に説明する力を養う
2-3. データを扱う	データを扱うための力を養う

3. データ・AI利活用における留意事項

3. データ・AI利活用における留意事項	学修内容
3-1. データ・AIを扱う上での留意事項	データ・AIを利活用する上で知っておくべきこと
3-2. データを守る上での留意事項	データを守る上で知っておくべきこと

教材提供

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/6university_consortium.html

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

MIセンターは、2022年度政府予算に盛り込まれた「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」事業の東京大学における実施主体です。同事業で選定された29大学（拠点校11大学、特定分野校18大学）のコンソーシアムの幹事校として、大学、産業界、研究機関等と幅広くネットワークを形成し、地域や分野における先進的教育モデルの拠点として、数理・データサイエンス・AIの実践的教育の全国普及に努めます。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材の育成を目指します。

[\[コンソーシアムホームページ\]](#)

数理・データサイエンス・AIの活用事例動画

本動画集は数理・データサイエンス・AIリテラシーレベル教材の導入となるような活用事例を収集したものです。数理・データサイエンス・AIリテラシーレベル教材との対応は下の教材一覧をご覧ください。

[人工知能 \(AI\) の活用事例動画一覧](#)

数理・データサイエンス・AI教材

本教材は数理・データサイエンス教育強化コンソーシアムが公開したりテラシーレベル及び応用基礎レベルのモデルカリキュラムの全国展開に向け、東京大学 数理・情報教育センターが開発したものです。モデルカリキュラムに完全準拠したものであり、全ての大学、高専において、学生への教育にご利用いただけます。

[本教材の利用についての詳細](#)

リテラシーレベル教材

章	節	教材	実習用補助教材
1. 社会におけるデータ・AI活用	1-1. 社会で起きている変化	スライド	
	1-2. 社会で活用されているデータ	スライド	
	1-3. データ・AIの活用領域	スライド	
	1-4. データ・AI利活用のための技術	スライド	
	1-5. データ・AI利活用の現場	スライド	人工知能 (AI) の活用事例動画
	1-6. データ・AI利活用の最新動向	スライド	
	2-1. データを扱う	スライド	

参考文献

- 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/pdf/model_literacy_revised_20240222.pdf

- 東京大学 数理情報教育研究センター,

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/6university_consortium.html